



校章 昭和27年制定

# 令和5年度 学校要覧



初代校長:小岩井是非雄 像

## 校歌

昭和58年制定

島崎光正 作詞

飯沼信義 作曲

一 光をめざし

若草のように

空にのびよう

鉢伏のふもとの丘で

強く直く

二 ひとみをかわし

いずみのように

共に学ぼう

ひろがりの世界の中で

日々をあらたに

三 西山の雪

かがやくように

きよき望み

ひとすじの道につながる

われらが母校

## 長野県松本ろう学校

昭和3年(寺田五三子氏により創立)

〒399-0021 長野県松本市大字寿豊丘820

☎0263-58-3094 Fax0263-85-1411

寄宿舎☎・Fax0263-86-0100

ホームページ: <https://www.nagano-c.ed.jp/matsuro/>

E-mail: [matsuro@m.nagano-c.ed.jp](mailto:matsuro@m.nagano-c.ed.jp)

標高706m 北緯36度10分7秒 東経137度59分33秒



松本ろう学校HP  
案内地図あります



さぼっぼくん



目指すべき特別支援学校像

- 一人ひとりの子どもの可能性が最大限伸びる特別支援学校
- 地域とつながり、共生社会をリードする特別支援学校

〈活気に満ちた学校〉

学校目標： 声さわやか ・ 心ゆたか ・ 体げんき

発信を大事に 受信を大事に 心身ともに健康で

- 中南信地域聴覚障害教育センターの役割を果たす
- 通級指導（巡回）の充実、教育相談（派遣）・早期支援の充実
- 中南信圏域の聴覚障がい児生支援（地域のネットワークの構築）
- 医療・福祉・難聴児支援センター・労働等との連携・調整

◎ 家庭・関係機関等との密接な連携

- 副学籍交流の有効活用
- 〆の積極的活用

◎ 自立活動・キャリア教育の充実

- 自己理解の推進と自己決定力の向上
- 日本語の力を核とした学力の向上
- 働く力の育成を目指した体力・社会性の向上

● 幼児児童生徒それぞれが自分らしく  
自信を持って生きていく力を育む

◎ ともに学ぶ楽しさが実感できる授業づくり

● 見通しある生活の中で共に育つ（舎）

- 基本的な生活習慣・生活リズムの確立支援
- 両校舎生の安心・安全・豊かな関係づくり
- 社会生活力を育む主体性を大切にしたい支援

確かな幼児児童生徒理解と、それに基づく個別の指導計画・教育支援計画  
専門性（自立活動実践力）の向上／授業や生活支援の改善

求められる ろう学校職員の姿

〈常に幼児児童生徒のきこえを意識し、ありのままを分かち、考え合うチーム〉

- 授業力・生活支援力の向上を目指し、実践を通して研究・研修に努める職員
- 率先して人権を守り大切にする職員
- 聴覚障がい児者や保護者に寄り添い、共に成長し、考え合う職員
- 互いの思いを尊重し、発信し合いながら相互にのりしろ厚く連携する職員

安心・安全な学校

- ・ 日々の人権教育
- ・ 毎月の安全点検
- ・ 安全教育の実施
- ・ 防災教育の実施
- ・ 健康教育の実施

教育公務員としての基礎的研修

高い倫理観と人権意識・非違行為根絶・危機管理 等

長野県特別支援学校重点項目

幼保小中高等学校に  
おける特別支援教育の  
対応力の向上を支援

特別支援学  
校の専門性  
の向上

すべての幼児児童生徒に  
対し、一人ひとりのニーズ  
に応じた教育を提供

地域や企業の  
方との協働の学  
びの充実

地元の同世代の友  
との交流及び共同  
学習の充実

# 学校教育目標:声さわやか 心ゆたか 体げんき

## 各部の目標

幼稚部	聴く子どもたちを育てる幼稚部	あいさつしよう なかよくしよう いっぱいあそぼう
小学部	進んで自分を表現する子を育てる小学部	よく聴こう・伝えよう 友だちを大切にしよう 体をきたえよう
中学部	自分から学ぶ気持ちを育てる中学部	思いを伝え合おう 共に学ぼう 健やかに過ごそう
高等部	主体的に自分を創る高等部 (産業工芸科/被服科)	伝え合え 知を磨け 健全であれ
寄宿舍	一人一人に合った 自立に向けた力を育てる寄宿舍	自分の気持ちや考えを伝え合いながら生活しよう 個々で定めた目標の達成を目指すと共に、仲間と支え合いながら楽しい生活をしよう 規則正しく安心安全な生活をしよう



寄宿舍 収穫したかぼちゃで製作



幼稚部 生活発表会



高等部 強歩大会



小学部 はと祭 劇発表



中学部 ALT授業

## 基本日課

幼稚部		小学部		中学部・高等部		寄宿舍	
9:00	登校	8:25	朝の活動	8:25	朝の活動	6:00	起床
9:15	個別指導	8:40	朝の会	8:35	朝の会/SHR	7:00	朝のつどい
9:45	元気の時間	8:50	1校時	8:50	1校時	7:40	朝食
10:20	おはようの会	9:45	2校時	9:50	2校時	8:00	登校準備
10:50	自由遊び	10:30	休み時間			8:15~	登校(順次)
11:40	学級の時間	10:50	3校時	10:50	3校時		
12:20	給食	11:45	4校時	11:50	4校時	15:00~	下校(順次)
13:55	全体活動	12:30	給食	12:40	給食	15:30	個人活動 学習・入浴 等
14:30	帰りの会	13:35	5校時	13:35	5校時	18:00	夕食
14:45	下校	14:30	6校時	14:35	6校時	18:30	歯磨き
14:55	個別指導	15:15	清掃	15:30	清掃	18:50	清掃
		15:30	帰りの会	15:40	帰りの会/SHR	19:00~	個人活動 学習・入浴 等
		15:45	下校	16:00	下校/部活	21:00	就寝 ※学習延灯23時
※園庭交流等ある場合別日課		※スクールバス出発16:00		17:00 部活下校			

## 幼児児童生徒数

部	年	男	女	計	合計
幼稚園部	3歳				4
	4歳	1	1	2	
	5歳	1	1	2	
小学部	1				5
	2				
	3	1	2	3	
	4				
	5	1	1	2	
	6				
中学部	1	2		2	6
	2	2	1	3	
	3	1		1	
高等部	1				1
	2				
	3		1	1	
合計		9	7	16	16

### 早期支援・通級指導対応の状況 (R5.4.1現在)

早期支援	0歳児① 1歳児⑧ 2歳児⑨ (松本市⑥ 飯田市② 伊那市② 塩尻市② 岡谷市① 松川町② 下諏訪町① 辰野町① 松川村① 阿智村①)	18
通級指導	小⑧(駒ヶ根市・岡谷市・箕輪町・ 塩尻市・松本市・安曇野市 飯田市②) 中③(飯田市・富士見町・松本市)	11

## 教職員数

職種	男	女	計
校長	1		1
教頭	1		1
養護教諭		1	1
教諭	8	18	26
講師		6	6
早期支援指導員		1	1
早期教育相談員		1	1
実習助手		1	1
寄宿舎教諭	3	3	6
寄宿舎指導員	3	3	6
事務長	1		1
事務職員	1	1	2
主任管理栄養士		1	1
校用業務員	2		2
学校看護師		4	4※
教員業務支援員等	1	3	4
学校医	2	2	4
学校薬剤師	1		1
療育支援員		1	2
合計	24	46	70

※寿台養護学校松ろうキャンパス兼務

## 出身地別幼児児童生徒数

市町村等	幼	小	中	高	計
松本市	2	4	3		9
安曇野市	2	1	2		5
岡谷市				1	1
飯田市			1		1
その他					
合計	4	5	6	1	16

### 高等部卒業生の進路状況 (平成25年度～令和4年度)

進学	東京藝術大① 筑波技術大② 長野大③ 東京女子体育大① 本校専攻科① (H29.3.31閉科)	8
一般就労	製造・県外④ 県内⑤ 運輸・通信③ サービス① 公務員①	14
福祉就労	移行支援② 就労継続支援A型② 就労継続支援B型⑨ 生活介護等	13
計		35

校内相談窓口：校長室・保健室・職員室  
困ったこと・相談等があればいつでも対応



## きこえとことばの教育相談 『ミミサポ』 (松本ろう学校のセンター的機能)

難聴児支援センター等と連携しながら、聴カレベルにかかわらず、聞こえにくさのある子ども達が、地域で学習したり生活したりしやすくなるようサポートします。お気軽にご相談ください。

※ 飯田市立丸山小学校内で、月1～2回、0歳～2歳児の早期支援教室も実施しています。

### 幼保・学校の先生方から

- ・ 難聴のある子どもが在籍しています。職員研修をしてほしいです。
- ・ 一側性難聴等、聞こえにくさのある子どものために、どのような環境への配慮が必要ですか。
- ・ 集団生活の中で、特に気をつけたことは何ですか。
- ・ 水泳学習等、補聴機器を外した活動の時に配慮することは何ですか。
- ・ 英語のリスニングは、どのような配慮をしたらいいですか。

### 幼児・児童・生徒本人から

- ・ きこえや補聴機器のことを友だちにも知って欲しいのですが、どうしたらいいですか。
- ・ 聞こえにくさのある(補聴機器をつけている)仲間と交流できる機会がありますか。
- ・ 集団生活の中で、どんなことに気をつけながら生活をしていったら、友だちともっと仲良くなれますか。

### 乳幼児保護者等から

- ・ 難聴があると言われました。どんなことを大切にしたらいいですか。
- ・ 「ことば」はどのように発達し、覚えていくのですか。
- ・ よりよい発達を促すために、どのように関わったり話しかけたりすればいいのでしょうか。
- ・ 補聴器や人工内耳をつけるのを嫌がります。どうしたらいいですか。